

ぜったいに、やってはいけないこと

「安全な実験をするには？」

3年生

1 走りまわらない。

2 実験するとき、使わないものはつくえの下にしまっておく。

3 温度計は、ていねいにあつかう。おれるとあぶない。

4 虫めがね(ルーペ)で光を集めたときは、熱くなるので注意。太陽も見ない。

5 かん電池にどう線だけで輪にすると熱くなってあぶない。(ショート回路で熱くなる)

4年生

1 空気でっぼうを人に向けてうたない。(水でっぼうでも人に向けない。)

2 ビーカーなどのガラス器具のあつかいはていねいに一つずつ運ぶなど気をつける。

4 アルコールランプに火をつけるときは、もらい火をせず、マッチでつける。

6 熱した金ぞくは、熱いのでぜったいに手でさわらない。(ヤケドに注意)

8 火を使うときは燃えやすいものを近くにおかない。ぬれたぞうきんを用意しておく。

3 アルコールランプの量が少ない場合はふやしてから使う。(8分目以上)

5 水を熱しているときは、上から顔を近づけないなど熱い湯気に注意する。

7 火を使った実験は、イスをかたづけ立って実験する。

5年生

4 大型のてこの実験は、手をいきなりはなすとぼうがはね上がりあぶない。

7 火で熱してじょう発させるときは、熱しすぎ余熱でかわかすようにする。

3 正しくにはかるためには、たいらなところにおいて実験する。

1 けんび鏡やてんびんを運ぶとき、片手は必ず底をおさえ両手でもって運ぶ。

2 まどぎわなどで太陽の光を使ってけんび鏡を明るくして見ない。

5 とかしたものはなめると危険なものもあるので、口に入れない。

6 かきまぜるぼうは、温度計などちがうものを使うと折れてしまうのでぜったいに使わない。

6年生

2 捕集びんでの燃焼実験は、水や砂を入れてガラスが割れないようにする。

1 わりばしなどものを燃やす場合は、換気扇を用い換気をしっかりする。

4 ガスパナーの点火は、ガスの量を多くせず、顔をはなして着火する。

3 気体検知管は、ガラスの破片がでるものや熱くなるものもあるので、取りあつかいに気をつける。

5 使ったあとのガスパナーや三きやくは、熱くなっているのですぐにさわったり、かたづけたりしない。

6 薬品は、手についたらすぐに洗うなど取りあつかいをていねいにし、気をつけてあつかう。

7 薬品どうし混ざらないように、気をつける。